



知夫小中学校
Tel 08514-8-2015
Fax // 8-2312
〒684-0100
知夫村 1053-1

[HP] <https://www.chibumura.ed.jp/>

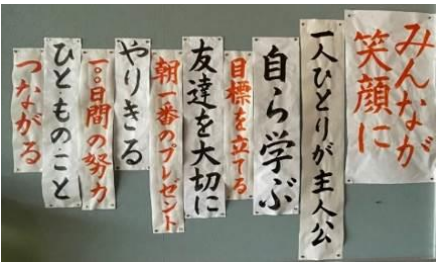
一学期を振り返って

校長

図書館前の向日葵の大輪の花が咲き始め、夏の訪れを知らせてくれています。

今日で六十七日間の一学期が終わります。一学期は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、六月三十日午後より七月四日まで臨時休校となりましたが、その後感染も収まり、無事終業式を迎えることができました。これもすべては、学校・家庭・地域の連携のおかげだと感謝しています。ありがとうございます。

一学期の始業式の日に、「一人ひとりが主人公」になり、みんなが笑顔になるために、「目標を立てて自ら学ぶ」「朝一番のプレゼント(あいさつ)で友達を大切に」「百日間の努力をやりきる」「知夫のひと・もの・ことつながろう」という話をしました。



学期末にそれぞれの取り組みについて振り返りをしてもらったところ、「目標を立てて自ら学ぶ」では、部活や予習復習を頑張る、元気に挨拶をする、何事も楽しむ、バスケの練習を頑張る、最高学年として下学年を引っ張る、言葉遣いに気を付けるなど、一人ひとりが目標を立て頑張っている様子が分かりました。

「朝一番のプレゼントで友達を大切にする」では、自分のあいさつを十点満点で採点してもらったところ、小学部は八点、中学部は八・四点どちらも高得点でした。小中学校の児童生徒のあい

- 【学校教育目標】**
未来を切り拓く
心豊かでたくましい
知夫の子どもを
育成する
- 【めざす子ども像】**
・自ら学ぶ子ども
・共に生きる子ども
・たくましく
生きる子ども
・ふるさとを
愛する子ども

さつについては、観光客の方からも、「あいさつが元気でとてもいいですね。」という言葉を受けていたり、中学部の修学旅行で添乗員やバスガイドの方からも挨拶をほめて頂いていたり、朝からともさわやかな気持ちで、学校生活を送ることができています。

「百日間の努力をやりきる」では、目標としてやると決めたことに、児童生徒一人ひとりがしっかりと取り組んだ様子が分かりました。今後も引き続き努力を続け、成果を出して欲しいと思います。

「知夫のひと・もの・ことつながる」では、コロナ禍の中、様々なことが制限されていましたが、総合的な学習の時間での取り組みの中で、知夫の自然や歴史、知夫で働く人たちとつながることができました。

保護者の皆様、地域の皆様には一学期の本校の教育活動に対しまして、多大なご理解とご協力を賜り、深く感謝申し上げます。今後とも、学校・家庭・地域が互いに連携・協力し、子どもたちを共に育てていきたいと思えます。どうぞよろしくお願いいたします。

最後に明日から夏休みとなります。交通安全や事故防止について学校でも指導しますが、ご家庭、地域での子ども達の見守りをお願いいたします。一学期の教育活動への多くのご支援をありがとうございました。この夏休み期間、新型コロナウイルス感染症対策にしっかりと取り組みながらも、夏休みにしかできないことにもチャレンジして欲しいと思います。二学期の始業式に、みなさんの笑顔に会えることを楽しみにしています。



中学部修学旅行

担当

今回の修学旅行は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、県内での修学旅行となりました。今回の修学旅行の目標は、「マナーを大切に一人ひとりが楽しい修学旅行」でした。この目標を達成するために、公共交通機関や宿舎でのマナーを一人ひとりが考えて行動することができていました。また、様々な島根の名所を巡ることで、改めて島根の魅力を発見することができ、充実した修学旅行となりました。

中学部三年

この三日間の修学旅行はとても楽しかったです。龍源寺間歩では、ガイドの方と楽しく周ることができたし、その前に行っていた石見銀山センターで学んだ梅のマスクについての知識も生かすことができました。また、マナーに気を付けることができたし、知事も増やすことができました。しかし、朝遅刻することがあったり、ホテルでうるさくして怒られたりすることがありました。こういった部分を、自分たちで気をつけられるようになりたいです。

中学部二年

中学二・三年生は、島根県内に修学旅行に行きました。修学旅行では普段の生活で身に付けたマナーや礼儀に気がつけながら楽しく過ごすことができました。また、島根の歴史や文化を学ぶことができて良かったです。修学旅行で学んだことを、これからの総合的な学習の時間に生かしていきたいと思っています。



小学部学習の様子

【三・四年 総合的な学習の時間】
■皆さんに各地区の蛇巻きについて教えていただきました。



【おひさま学級 生活単元】
毎月の予定を書いて、廊下に掲示してお知らせしています。



【一・二年 学級活動 「歯磨き指導」】
■先生と一緒に歯の大切さと磨き方について勉強しました。

【五年 外国語活動】
■先生方に英語でインタビューしました。



【六年 家庭科】
■味付けを工夫して、野菜炒めと卵焼きを作りました。



小学部クラブ活動

担当

今年度も、三、六年生全員でクラブ活動(ちびクラ)に取り組んでいます。まず、教育委員会の方と教員から「知夫を楽しむ活動例」を児童にプレゼンしました。その中から児童が選んだ四つの活動と、自分たちで企画した活動の二つも計画に取り入れてスタートしました。

今年度最初のクラブ活動は「魚をとるしかけを作ろう」でした。学校の隣を流れる川で、以前はうなぎがとれたという情報を聞いた子ども達。自分たちの作ったしかけでもウナギがとれるか試してみたいと、この活動を選んだようです。ペットボトルや針金など、試行錯誤しながら材料を切ったり組み合わせたりして、それぞれに自分のしかけを完成させることができました。

二回目のクラブ活動では、「ニュースポーツ対決」を行いました。勝負の相手は、招福苑に入居されている高齢者の皆さんです。対決するレクリエーション選びや対決の仕方は、事前に六年生が相談し、ペタンクと輪投げ対決を行うことになりました。当日は、たくさん入居者の方が参加して下さり、どちらのレクリエーションも大変盛り上がりました。レクの後は、おじいさんやおばあさんとの交流の時間も持ちました。子ども達から色々な質問をさせていただき、会話が弾んでいました。ここ数年、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため控えていた招福苑での交流活動でしたが、子ども達や招福苑の皆さんの笑顔や、はつらつとした姿を見ると、交流活動だからこそ得られるものがあるんだと改めて感じました。

また後日、招福苑の二人のおばあさんから、素敵なプレゼントも届きました。子ども達へのお礼のお手紙でした。児童の振り返りには、地域のおじいさん、おばあさんに喜んでいただけたいことを、自分の喜びとして素直に感じている様子も見られました。今後のクラブ活動でも、地域の「ひと・もの・こと」とつながり合って、さらに充実したものにしていきたいと思えます。

今回の活動にあたり、招福苑の皆様には、事前の打ち合わせや当日の準備など、一緒になって活動を支えていただきました。本当にありがとうございました。

小学部三年

今日は、地いきの方とやりゆうして、あそんだり、会話を楽しくしたりできたのでよかったです。いつもでもできました。どこにすんでおられるかわかったし、わたしが知っている人の家ぞくさんもおられました。しようふくえんの人たちはやさしかったので、話しやすかったです。またしようふくえんに行きたいと思えました。しようふくえんに行くと、元気になるからです。

小学部六年

今回は、招福苑で交流をして、とても楽しかったです。ペタンクをした時には難しく、結果的に負けてしまったけれど、楽しめたし、みんなが笑顔で楽しそうでした。交流の時間には、おじいちゃんやおばあちゃんと昔の話や学校の話など、たくさん話げができました。たくさんの方々と交流できて、とても良かったです。



第一回マラソン大会

体育主任

今年度の第一回校内マラソン大会が開催されました。初めてのマラソン大会にドキドキした様子の子も達でしたが、スタートラインに立つと「やるぞ!」という表情に変わりました。自己記録を一秒でも縮めようと、最後まで走り切る子ども達の姿が印象的でした。特にゴール前のデッドヒートは見ごたえがありました。沢山の記録も生まれ、子ども達にとっても自信につながる大会になったと思います。当日は浴道で保護者の皆様や地域の方に応援していただきました。ありがとうございました。

小学部二年

もくひようタイムよりもはやくはしれたからよかったとおもいました。つぎの二回目はもっとはやくはしりたいです。

小学部二年

目ひようタイムよりもおそかったので、つぎのマラソン大会で目ひようタイムをこえたいし、ゆづきさんをおいぬきたいです。

小学部二年

一年生にまけたからつぎのマラソン大会は一年生に負けないようにしたいです。一位になって、くんをぬきたいです。

小学部二年

まい日かえってから十一しゅうはしりたいです。五分台はいけたから、つぎも五分台でいけるようにがんばりたいです。

小学部六年

今回のマラソン大会は、らんらんタイムでしか走っていませんでしたが、自分の前回の記録や目標タイムをこえられたから良かったです。また、応援も大きな声でできたから良かったです。小学生ではマラソン大会はあと二回しかないの、悔いの残らないように頑張りたいし、兄の記録にも近づけるように努力し、大会に臨みたいです。



中学部二年

私は今回のマラソン大会で、二位を目指していましたが、三位でも悔しかったです。でも、タイムがとても短くなったので嬉しかったです。次回のマラソン大会ではもっとタイムを早くして、目標達成できるように頑張りたいです。応援ありがとうございました。

中学部三年

僕は運動する機会が減り、体力が落ちていました。そのせいか、今までより「後輩に負けたくない」という思いが強くなりました。本番走ると、後輩に勝つことはできましたが、それで安心してしまい、前回よりもタイムを落としてしまいました。一番の敵は自分を甘やかす自分です。まずは自分との勝負に勝てるようにしたいです。

